

# アレル表記法と結果報告の原則について2002

木村彰方<sup>1)</sup>，柏瀬貢一<sup>2)</sup>，徳永勝士<sup>3)</sup>，小河原悟<sup>4)</sup>，斉藤 敏<sup>5)</sup>，成瀬妙子<sup>6)</sup>，橋本光男<sup>7)</sup>，  
丸屋悦子<sup>8)</sup>，屋敷伸治<sup>9)</sup>，平田蘭子<sup>10)</sup>，前田平生<sup>10)</sup>  
(HLA標準化委員会)

<sup>1)</sup> 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態，<sup>2)</sup> 東京都赤十字血液センター検査三課，<sup>3)</sup> 東京大学大学院人類遺伝学，<sup>4)</sup> 福岡大学医学部第4内科，<sup>5)</sup> 長野県赤十字血液センター，<sup>6)</sup> 東海大学医学部分子生命科学系，<sup>7)</sup> 兵庫県立西宮病院腎移植センター，  
<sup>8)</sup> 特定非営利活動法人HLA研究所，<sup>9)</sup> 鹿児島大学医学部ウィルス学，<sup>10)</sup> 埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部

HLAタイピングでは、血清学タイピング手法に加えて種々の原理に基づくDNAタイピングが用いられている。特に最近では、抗血清収集の困難さやタイピング精度の問題から、DNAタイピング手法がより一層普及し、タイピング目的によっては、血清学タイピングが行われないこともある。また、DNAタイピングの結果を用いて、臓器移植ペアの選択等が行われることも一般化しつつある。

日本組織適合性学会標準化委員会では「アレル表記法と結果報告の原則について2000」において、HLAタイピング結果の報告に関する提言を行った。

その中には、「2. DNAあるいは血清学的タイピングの結果欄に、血清学分類に書き替えた血清型を報告すべきではない」と、「3. 血清学的分類との対応が重要である場合（例えば臨床医への報告など）には、血清型との対応について、コメントあるいは説明の欄を設けて、追加説明することを推奨する」の提言が含まれるが、このようなDNAタイピングの結果のみでHLA型の判定が行われることが一般化している現状に鑑みて、「アレル表記法と結果報告の原則2000」に以下のことを付け加えることを提案する。

### I. 結果報告について

1. DNAタイピングを行った場合には、原則としてDNA型を報告することとするが、それに加えて、DNAタイピングの結果から推定される血清型を「血清対応型」として報告することを可とする。

例1：HLA-Bローカスの1501を、血清対応型のB62として報告する

例2：HLA-Bローカスの4001を、血清対応型のB60として報告する

2. 血清対応型の推定は、WHO命名委員会報告に従う。血清型が不明とされている場合は、「血清対応型」として報告しない。

例1：HLA-Bローカスの1511を、血清対応型のB75と推定する

例2：HLA-Bローカスの1522を、血清対応型のB35と推定する

例3：HLA-Bローカスの1523は血清型が不明なため、血清対応型としては報告しない。また、ブランク「-」としても報告しない。

3. WHO命名委員会で血清型が不明あるいは親抗原型のみしか記載されていなくても、HLA学会標準化委員会において「血清対応型」が確認されている場合（別表）には、それを「血清対応型」として推定してもよい。

例1：HLA-Bローカスの1529を、血清対応型のB70と推定する

例2：HLA-Bローカスの4003を、血清対応型のB61と推定する

### II. 表記について

1. ブランク「-」は、区別出来ないアレルの表記に用いる。

例1：HLA-Bローカスの「4002/03, -」は、両側のアレルが4002または4003の場合を示す

例2：上記の血清対応型の表記は、「B61, -」とする

2. 両側の血清対応型がアレルレベルで区別可能な場合は、両側に同一名を記載する。

例1：HLA-Bローカスの4002, 4003のヘテロ接合の血清対応型表記は、「B61, B61」とする

\*\*\*\*\*

### 別表

WHO命名報告2000において血清型が不明とされている以下のアレルについては、日本人においては血清対応型が判明しているため、→の後に記載した血清対応型を用いて報告してもよい。

B\*4007 →B60 (WHO命名報告2000では血清型不明)

B\*1529 →B70 (WHO命名報告2000ではB15)

B\*4003 →B61 (WHO命名報告2000ではB40)

B\*4004 →B61 (WHO命名報告2000ではB40)

日本組織適合性学会HLA標準化委員会  
(2002年9月23日)